

学校教育目標 『高くかかげよ』～夢と志を抱き、仲間とともに、高め合う子どもの育成～

日比中だより



TEL (0848) 22-6513 FAX (0848) 22-2002

URL <http://www.onomichi.ed.jp/hibizaki-j/>

メールアドレス hibizaki-j@onomichi.ed.jp

令和2年2月3日(月)
尾道市立日比崎中学校

立志式

1月24日(金)に「立志式」を行いました。来賓として尾道市教育委員会 学校経営アドバイザー古川昭生様、教育指導課 指導主事 村上祥太郎様、日比崎中学校PTA会長岡田亮様、尾道市議会議員 岡村隆様、学校関係者評価委員 門田晶子様にご臨席を賜り、保護者の皆様の出席のもと、2年生の代表4名が「志」宣言を行いました。

学校長式辞に続いて、生徒会長 三浦一朗くんが誓いの言葉を述べ、グエン ニャト ベトくん、島田莉緒さん、高橋涼輔くん、太田響さんが「志」を宣言しました。

このたびの「立志式」では、「中学2年生が自ら“人生の夢と志”を宣言し、これからの人生をたくましく生き抜こうとする自覚と意欲を高める」機会となりました。

「夢」

二年一組 グエン ニャト ベト

僕は将来、人と人を繋げる職業に就きたいです。エイサー学習の際に特別講師として来られた前田先生が様々な話をしてくださいました。例えば「凶悪な犯罪者が殺されて、大統領が『平和になった』と言ったが、本当に平和は来るのか。」「第二次世界大戦では、天皇が終戦を告げるまでほとんどの国民はそれを知らなかった。」といった話です。僕はこの話を聞き、「平和って何だろう」と考えるようになりました。そして、僕は同時に平和を作る手助けができる職業に就きたいと思ったのです。そして僕は将来、「通訳」になりたいと思うようになりました。「人と人が争うのは、価値観や考え方が違うからだ」と思ったからです。僕は将来、通訳となって、言葉を運ぶだけでなく、思いを伝え、人と人の架け橋となるような通訳になりたいです。そのために、僕は日々の生活を豊かにし、お互いの考えを認め合い、尊重できるような人間になります。そのために、寛容な心を持ち、日々の勉強に努めたいと思います。二学期のはじめに職場体験学習があり、僕は尾道市立日比崎小学校で、体験させていただきました。この三日目と四日目に、体験先のクラスの担任の先生が不在で、授業を監督する機会がありました。図工の授業が始まると、「上手に組み立てられない」「間違ってしまった」とあちこちから助けを求められ、僕はそれに対応するだけで精一杯でした。この体験から、児童の様子を見ながら、一人一人に応じた対応をしている先生のすごさを感じました。また、この「児童一人一人を大切にしておく」という姿勢は、お互いを尊重することにも繋がると思います。また、職場体験学習中に、小学生から学んだこともあります。僕が担当した四年生は元気で、休憩時間でもクラス関係なく遊んでいました。そして学習発表会に向けての合同練習でもクラスや性別関係なく一丸となって一生懸命に取り組んでいました。僕達中学生は、男子同士、女子同士と固まっていることが多いです。そのため、性別やクラス関係なく生活していた小学生を見て、まさに、「平和」というものを感じました。僕もクラスや性別で壁を作らず、人に接していきたいです。「人と人を繋げる通訳になりたい」という気持ちだけでは通訳にはなれません。また、



人と人の架け橋を造るには、まず自分と相手の間に橋を造らないといけません。偏見を持たず、相手の良いところから探して、「平和」に生き、「平和」を創っていきたいです。

「絶対に忘れられないこと」

二年一組 島田 莉緒

私には、夢といえるものがありませんでした。しかしある時、夢が見つかるきっかけがありました。私はそれを、今でも絶対に忘れられません。私は、最近おばあちゃんを亡くしました。いつまでもいてくれる存在だと思っていました。私は身近な人を失うとは、テレビで見たり、人から聞いたりした時には、「そんなに辛くないんじゃないか」と思っていたのです。しかし、いざ自分がその立場になると、こんなにも辛いことなのだと感じました。前にテレビで、「生きていたくても生きられない人もいるんだよ」と言っている場面を見て、私もおばあちゃんを亡くす前に言われたことを思い出しました。おばあちゃんは「もうがんばれん。」「バレーの試合を見に行きたかった。」と言っていました。今では、そんな言葉は私にとってとても切ない言葉です。家族に「最後まで必死に生きようとしていた」と言われた時、私はすごく泣きました。私はおばあちゃんにあまり優しい言葉をかけたり、そばにいたりできなかったことをすごく後悔しているし、悔しい気持ちでいっぱいです。だから、私は将来、「人を助ける」仕事である看護師になりたいと思いました。「人を助ける」ということは、とても大変で、辛いことだと思います。しかし、「人を助ける」ということはとてもやりがいがあることだと思います。私は、よく怪我をしていたため、今まで病院の先生にたくさん助けられました。私が大怪我をしてショックを受けていた時も、お医者さん達は私に優しい言葉をかけてくれて、「私もこんな風に優しく、人を助けられる人になりたい」と思いました。「これから、家族や友達に辛いことがあったら助けてあげないとな」と、この経験を通して思いました。そして、ただ助けるだけではなく、私もお医者さん達のように、優しい言葉が言えるようになりたいです。言われた人は嬉しくなるし、相手に感謝する気持ちが深まると思います。私のおばあちゃんも、「優しく色々なことを教えてもらった方が、頑張ろうという気持ちやプラス思考な気持ちになる」と言っていました。私は人に優しくし、人を助けられるような人になりたいと思いました。私は、本当におばあちゃんの孫に生まれて良かったです。失うということは、とても辛くて、思い出すたびに泣いてしまいましたが、私はおばあちゃんがいいたからこそ、大事な夢ができたのだと思いました。最初は、夢ってなんだろうと思うことがよくありました。ネットで調べたり、人に聞いたりしていましたが、今では夢をもつことで、人生は変わると思います。私は、おばあちゃんが教えてくれたことは、一生忘れません。これから、夢に向かって頑張っていきます。



「大切なもの」

二年二組 高橋 涼輔

僕には大切な物が二つあります。一つは「友達」、もう一つは「趣味」です。僕にとって友達は、休日や平日にいろいろなことをして遊んだり、疲れた時や傷ついた時に助け合ったり、支え合ったりする存在です。部活が終わって学校から帰る時、僕も友達も疲れているけど、いつもそばにいて話をしてくれます。僕は友達と話していると、疲れが無くなったように感じるし、とても楽しいです。そんな時、僕は、「友達がいて良かった」といつも思います。また、友達はいつも一緒に色々なことをしてくれます。例えば、昼休憩で、昼食後に、友達に「サッカーをしよう」と言ったら、一緒にサッカーをしてくれます。それに、テスト週間の時、分からない問題があったら、僕が分かるまで教えてくれるし、共に助け合っていくことができるので、とても大切な存在です。そして、僕の「趣味」は、サッカーです。僕は、小さい頃からサッカーをしています。きっかけは、友達がサッカ



一をしていて、僕もプロの試合を観ていたからです。サッカーは、とても人気のあるスポーツで、試合に行くと、人がたくさんいました。僕は、昔から面倒くさがりで、全然努力をしていませんでした。他の人に抜かされるのがとても多く、コーチにもたくさん怒られていました。「このままじゃだめだ」と思って、たくさん努力をしました。そして、小学五年生になったばかりの時、一つ上の学年の人の試合に出ることになり、そこで点を取りました。すると、コーチにも仲間にもほめられました。この時、僕は、「努力すれば報われる？ そうじゃないだろう。報われるまで努力するんだ」というメッシの名言を思い出し、本当にそうだな、と思いました。そして、「やっぱりサッカーって楽しいな」と思い、もっとサッカーを好きになりました。それから、僕は、いろんな国の選手やクラブチームの名前を覚え、その人達の真似をしたりして、たくさん努力をしました。今まで、たくさん怒られ、また、努力もしたので、今の僕がいると思います。もし、僕がサッカーに出会っていなかったら、今の僕はいません。だから、サッカーは僕の中でとても大切な趣味です。僕には、「友達」と「サッカー」という大切なものがあります。これからも僕は、これらを大切に生きていきたいです。

「本の良さをみんなに伝える」 二年二組 太田 響

私は、本が好きです。本には、人を喜ばせ、人をつなぐ特別な力があります。しかし、皆さんは本=文章ばかり、面白くない、つまらないなどのイメージを持っているでしょう。私も幼稚園に入るまでは、文章ばかりで面白くなくて、絵ばかりを見ていました。本のどこがいいのだろうとも思っていました。私は、幼稚園に入って、本と触れ合うことが多くなりました。先生が読み聞かせをしたり、親が勧めたり、そうするうちに自然と本が好きになりました。自分から本を読み、妹にも読み聞かせをするようになりました。これらは、自分の好きなものを見つけることができた、良いきっかけになったと思います。私は、小学校に入ってから本を読み続けました。読むジャンルも増えていきました。推理小説、物語、歴史など、自分の知らなかったたくさんの本と出会うことができました。そこで、ふと疑問が浮かびました。「どうして、本は、人を喜ばせたり、人を感動させたりできるのだろう」と。この疑問の答えは職場体験で見つけることができました。私は、尾道市立中央図書館に行き、司書として働きました。最初私は「司書って何だろう」と思いました。司書とは、本を整理したり、利用者の方の資料探しのお手伝いをしたりする人です。仕事をしてみると、とても大変でした。覚えることがたくさんあって、テキパキすることが難しかったです。でも、楽しいこともありました。読み聞かせをしたのですが、私が笑えばみんなも笑うのです。人がつながる瞬間でした。本も同じだと思います。文章に作者の思いや願いが込められており、その思いが読み手に伝わって読み手も共感するのです。「どうして本は人を喜ばせたり、人を感動させたりできるのだろう」という疑問の答えを見つけられた時、私は決心しました。図書館司書になって本の良さを伝えよう、と。しかし、図書館司書になるのはとても難しいです。だから、今からできることを少しずつしていきます。その一つは、本を読み続けることです。本が好きだという気持ちがなければ、図書館司書にはなれません。まして、本の良さを皆さんに伝えることができません。まだ読んでいないジャンルにもどんどん挑戦して、読んでいきたいです。次に、勉強です。図書館司書には、知識も必要です。今、社会では何が起きているのか、何が求められているかを知っていなければ、相手が求めるものを用意することができません。そのため、勉強にも真面目に取り組んでいきます。最後は、部活です。私は、文化部で絵を描いています。上手な絵を描くのは難しく、何回も落ち込んでしまいます。でも、この絵を描くことも大切です。図書館司書の仕事の一つに、本のポップ作りがあります。本の良さを伝えるためにも上手な絵が描けるように練習していきたいです。私は、以上のことを頑張りながらも、毎日大切にしていきたいと思います。今回、立志について考えることで、改めて、自分を見つめ直すことができました。これを機会に、気持ちを引き締めていきます。



今後の行事予定

2月の行事予定		3月の行事予定	
1	土	1	日 公立高校卒業証書授与式
2	日	2	月
3	月	3	火
4	火	4	水 女性会・PTAあいさつ運動(1年3組女子) 部活動休養日
5	水 女性会・PTAあいさつ運動(本部役員) 部活動休養日	5	木
6	木 SC(スクールカウンセラー)	6	金
7	金	7	土
8	土	8	日
9	日	9	月
10	月 尾道教育研究会(高西中)午後のため弁当なし ※デリバリー給食の生徒のみ食べて下校 部活動休養日	10	火 卒業証書授与式(午前10:00開式) ※午後より全員下校 弁当なし デリバリー給食なし 部活動休養日
11	火 <建国記念の日>	11	水
12	水 修学旅行(2年)	12	木
13	木 修学旅行(2年)	13	金
14	金 修学旅行(2年)	14	土
15	土	15	日
16	日	16	月
17	月 2年生(振休)	17	火
18	火	18	水 部活動休養日
19	水 PTAあいさつ運動(1年2組女子) テスト期間スタート(部活動停止期間)	19	木
20	木 SC(スクールカウンセラー)	20	金 <春分の日>
21	金	21	土
22	土	22	日
23	日 <天皇誕生日>	23	月 日比崎小学校卒業式(午前)
24	月 <振替休日>	24	火
25	火 参観授業、学級懇談会 尾北出前授業(2年生)	25	水 修了式、離・退任式(午後) 部活動休養日
26	水 1・2年学年末テスト(1日目)	26	木 学年末休業日3/26~3/31
27	木 1・2年学年末テスト(2日目) 薬物乱用防止教室(3年生)3校時	27	金
28	金 1・2年学年末テスト(3日目)	28	土
29	土	29	日
1	公立高校卒業証書授与式	30	月
2		31	火

写真等、個人情報の掲載をしておりますので、取扱いには注意してください。